

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学乳腺外科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2021年6月 福島県立医科大学医学部乳腺外科学講座 講座主任
大竹 徹

【研究課題名】

乳癌における p62 関連分子の発現と臨床病理学的因子の解析

【研究期間】

2021年6月（承認後） から 2023年12月31日

【研究の意義・目的】

癌細胞の増殖には様々な増殖因子と受容体を介した細胞内シグナルの伝達が関与しています。申請者らはp62分子が選択的オートファジーによって形成される液滴・凝集体の主要成分、および細胞内のシグナリングハブとして機能するタンパク質であり、癌薬物療法に対する耐性獲得にも関与していることを明らかにしました。しかし、あくまで細胞株を用いての研究の結論であり、実際のヒト癌腫における検証実験に乏しいため、診断・治療への応用の可能性については不明です。また、タンパク質の分解を通じた制御機構であるため、公開されている転写発現データベースを用いた分析はできません。したがって、先行研究成果を診断・治療の応用に展開するにはヒト腫瘍由来組織を使用する以外に方法はない状態です。

本研究では、ヒト乳癌におけるp62の役割を明らかにする目的で、p62とその相互作用分子、およびp62が関わる現象に中心的な役割を担う分子について、当施設で実施した乳癌手術症例を用いた発現・局在解析を行います。さらに、これら情報と臨床病理学的因子との関連について後ろ向きに解析することにより、臨床病理学的意義を明らかにし、新たな乳癌の診断法や治療法を提唱できると考えます。

【研究の対象となる方】

1. 福島県立医科大学附属病院にて、2000年1月から2018年12月に原発性乳癌にて手術を受け、手術標本が保管されている患者さん
2. 福島県立医科大学附属病院にて2019年1月から2021年3月に原発性乳癌にて手術を受け、先に行われた研究「乳癌におけるクラスリンアダプター関連分子の発現と臨床病理学的因子の解析」に参加した患者さん

【研究の方法】

上記対象者の手術または生検で採取された検体を用いて、乳癌に特徴的な遺伝子の異常やタンパクの発現異常について調べ、臨床データ（腫瘍の大きさや深達度、リンパ節転移、遠隔転移、進行度、再発の有無、薬剤感受性、予後など）との関連を解析します。

【研究組織】

研究責任者	乳腺外科学講座	主任教授	大竹徹
主任研究者	乳腺外科学講座	講師	立花和之進
研究分担者	解剖・組織学講座	主任教授	和栗聡
研究分担者	解剖・組織学講座	准教授	植村武文

研究分担者	解剖・組織学講座	講師	田村直輝
研究分担者	病理病態診断学講座	教授	橋本優子
研究分担者	病理病態診断学講座	講師	喜古雄一郎
研究分担者	乳腺外科学講座	講師	阿部宣子
研究分担者	乳腺外科学講座	博士研究員	岡野舞子
研究分担者	乳腺外科学講座	助教	野田勝
研究分担者	乳腺外科学講座	助教	村上祐子
研究分担者	乳腺外科学講座	助教	星信大
研究分担者	乳腺外科学講座	病院助手	阿部貞彦

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
 公立大学法人福島県立医科大学医学部乳腺外科学講座 担当 阿部貞彦
 電話: 024-547-1257 FAX: 024-548-3249
 E-mail: a-sada19@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
 公立大学法人福島県立医科大学医学部乳腺外科学講座 担当 阿部貞彦
 電話: 024-547-1257 FAX: 024-548-3249
 E-mail: a-sada19@fmu.ac.jp